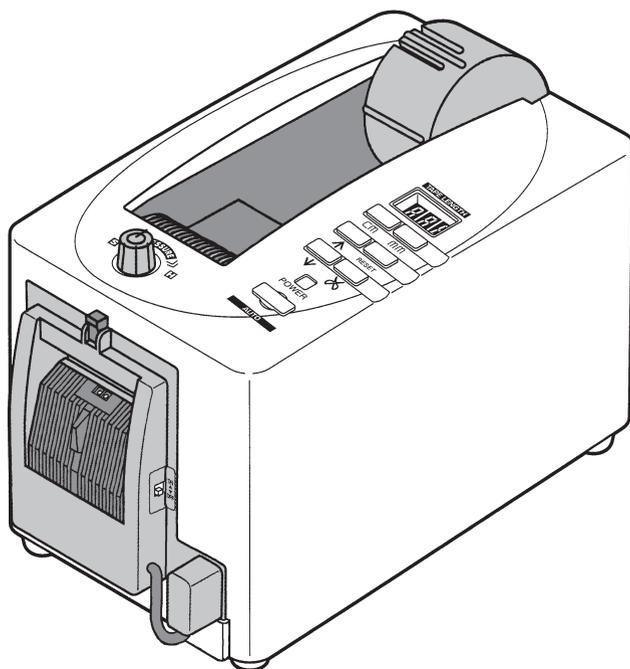


# ELECTRIC TAPE DISPENSER

# 電動テープカッター 取扱説明書 T-EM100

KOKUYO



## はじめに

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書は、この製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。  
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。  
また、この製品を末永くご使用いただくために、この取扱説明書は大切に保管してください。

## お客様へお願いとお断り

- 本書の内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することはお断りいたします。
- 本製品のご使用により発生した損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。  
あらかじめご了承ください。

## 特 長

- テープの送り長さは、1mm単位で必要な長さに設定できますので、テープの浪費を防ぐことができ、テープコストが削減できます。
- テープ取り出し口に出てきたテープを取ると、次のテープが自動的に出てきてカットされますので、テープ貼り作業が大変ラクになります。(オートフィード機能)
- テープ取り出し口はテープのカット時に可動シャッターが刃をガードしますので安心してご使用になれます。

## 安全上のご注意 (必ずお守りください。)

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

### ⚠警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

### ⚠注意

取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### ⚠警告



交流 100V (AC100V) 以外の電源電圧で使用しないでください。  
感電・発火・故障の原因になります。



製品に水をかけたり、ぬれた手でさわったりしないでください。  
感電・ショート・発火・故障の原因になります。



水のかかるおそれのある場所、湿気やホコリの多い場所では使用しないでください。  
感電・ショート・発火・故障の原因になります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。  
感電の原因になります。



テープ取り出し口には絶対に指を入れないでください。  
オートフィードカッターユニットの刃に触れて、けがをする原因になります。



可燃性スプレー (エアダスターなど) は使用しないでください。  
ガスが充填し、引火・爆発・故障の原因になります。



電源プラグが破損した状態で使用しないでください。  
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは、ホコリがついていないか確認し、プラグの根元まで確実に差し込んでください。  
ホコリがついていたり、接続が不完全ですと、ショート・発火のおそれがあります。



コンセントに電源プラグを差し込むときは、必ずアースクリップをアース線に接続して、アース(接地)をしてください。  
故障や漏電のときに、感電事故を起こすおそれがあります。



アースクリップは、以下のような場所には絶対に接続しないでください。  
ガス管…爆発や引火の原因になります。  
避雷針・電話線…落雷のときに危険です。  
水道管…感電の原因になります。また、途中がプラスチックになっている場合は、アースになりません。



延長(継ぎ)コードを使用するときは、損傷のないアース線を備えた3芯コードを使用してください。  
感電・ショート・発火のおそれがあります。



電源コードは、傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重いものをのせたり、挟み込んだり、束ねたりしないでください。  
コードの破損による感電・ショート・発火の原因になります。



万一、電源コードが破損したときは、直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電・ショートのおそれがあります。



カバーをはずして使用しないでください。  
感電・ショート・発火・けが・故障の原因になります。



電源プラグは、必ずプラグを持って抜いてください。  
コードを引っ張って抜くと、コードが損傷して、感電・ショート・発火のおそれがあります。



発熱したり、煙、異臭、動作などの異常を感じたとき、金属片や液体などの異物が機器の内部に入ったとき、製品が故障したと思ったときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。  
感電・ショート・発火・けが・破損・故障のおそれがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
絶縁劣化による感電や漏電火災のおそれがあります。

## ⚠注意



製品を設置するときは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。  
「ON」になっていると、誤ってボタンを押したときに、作動してけがをするおそれがあります。



製品を投げたり、ものにぶつけたり、高い場所から落としたり、衝撃を加えるなどの乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。  
けが・破損・故障の原因になります。



お子様だけで使用させないでください。  
けがをする原因になります。



乳幼児の手の届かない場所で、使用・保管してください。  
けがをするおそれがあります。



傾斜や段差、凹凸のある面など、不安定な場所では使用しないでください。  
けが・破損・故障の原因になります。



ストーブなど火気に近づけて使用しないでください。  
やけどや火災の原因になります。



製品の分解・改造・修理はしないでください。  
感電・ショート・発火・けが・故障の原因になります。



部品の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。  
感電・ショート・発火・けが・破損・故障のおそれがあります。



製品を廃棄するときは、焼却しないでください。  
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。  
製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例にしたがって、正しく廃棄してください。



テープ取り出し口に棒や板状のものを差し込まないでください。  
刃の破損によるけが・故障の原因になります。



送りローラーなど可動部に触れないでください。  
けがをする原因になります。



使用後は、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
誤作動によるけがのおそれがあります。特に、乳幼児の事故にはご注意ください。



移動させるときは、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜き、アースクリップを取りはずし、コードをたばねてください。  
コードを傷つけたり、コードに引っかかって、けがをするおそれがあります。



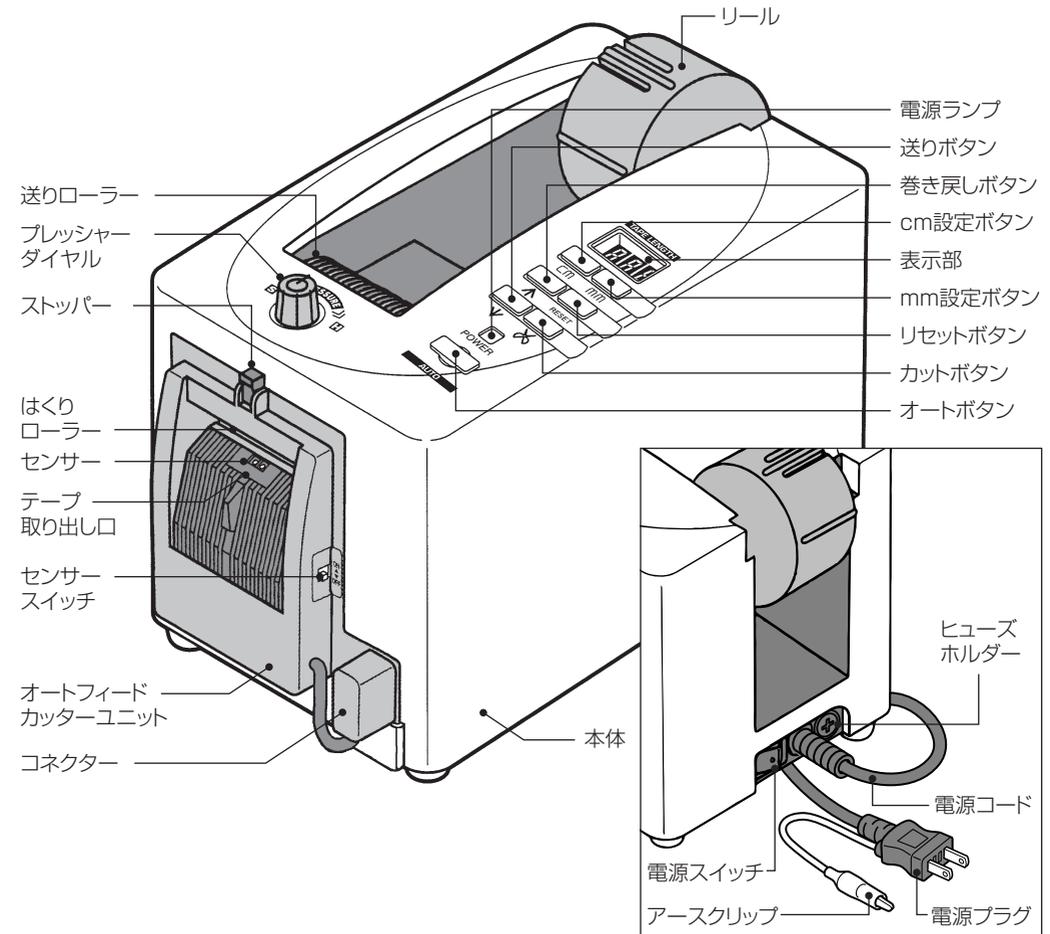
この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

## 使用上のご注意

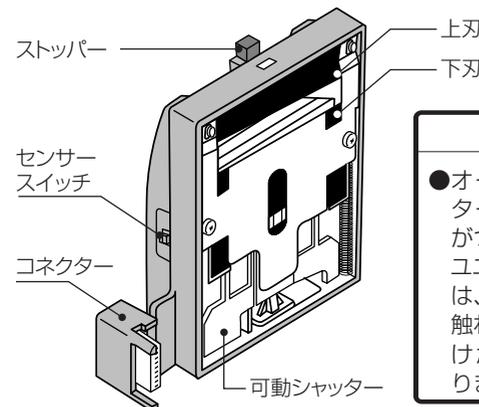
- この製品は室内または屋内用です。
  - この製品は精密な電子部品で構成されていますので、温度の変化が著しいところ(使用温度5℃~40℃)や湿気・ホコリの多い場所での使用・保管は避けてください。
  - 直射日光やストーブなどの熱、冷暖房器の強風が直接あたる場所や、湿気の著しいところは避けてください。
  - テープのセットは、取扱説明書通りに正しく行ってください。
  - 使用テープの種類は、以下のテープにかぎります。
    - ・セロハンテープ
    - ・メンディングテープ
    - ・クラフト粘着テープ
    - ・布粘着テープ
    - ・PPテープ(厚さ0.5mm以上は不可)
- 〈ご注意〉**  
一般的なテープでも本製品で使用できないテープもあります。

- 使用可能なテープ幅は7mm~50mm、テープ外径はφ170mm以下です。
- テープの種類(基材の伸び縮みのあるテープなど)の違いによって、一定の長さに送れない場合があります。
- テープ取り出し口に強い光が当たる場所での使用は避けてください。光源の種類によって異なりますが、明るい場所で使用しますとセンサーが誤作動することがあります。  
〈センサーの機能を妨げる明るさの目安〉
  - \*明るい窓際に、センサーを向けている場合
  - \*白熱灯…800ルクス以上の場合(60W灯火 45cm位)
  - \*蛍光灯…3000ルクス以上の場合(40W灯火 30cm位)
- 製品の上に紙や布などを、かぶせたり置いたりしないでください。故障の原因になります。

## 各部の名称



### オートフィードカッターユニット



**⚠ 注意**

●オートフィードカッターユニットには刃がついています。ユニットをはずすときは、絶対に刃先に手を触れないでください。けがをする原因になります。

### 付属品



## 各部の名称とはたらき

●表示部  
テープの送り長さを3桁(mm単位)で表示します。

●cm設定ボタン  
cm設定ボタンを押すとテープの送り長さが10mm(1cm)単位の長さで増していきます。表示部の上2桁に表示されます。

●巻き戻しボタン  
テープを巻き戻す場合に使用します。  
★テープを途中で交換する場合  
★テープが詰まって巻き戻し操作の必要な場合

●送りボタン  
ボタンを押している間テープが送り出されます。  
(この場合表示部に設定した長さには無関係の状態ではテープが送り出されます。)

●mm設定ボタン  
mm設定ボタンを押すとテープの送り長さが1mm単位の長さで増していきます。表示部の下1桁に表示されます。

●リセットボタン  
【Err】【- - -】表示を解除する場合に使用します。(1回押すと表示部が点滅、2回でリセット完了)

●カットボタン  
ボタンを押すと刃がスライドしてテープがカットされます。(送りボタンで送り出したテープをカットする時に使用します。)

●電源ランプ  
本体後面の下方にある電源スイッチを「ON」にすると点灯(緑)します。

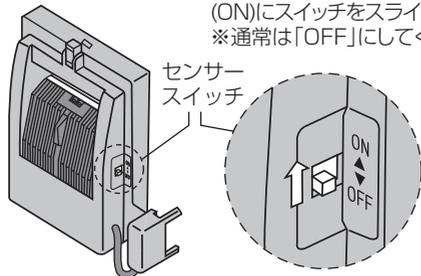
●オートボタン  
ボタンを押すと表示部に設定した長さだけテープが送り出されて自動的にカットされます。

●その他のボタン操作  
表示部の数字を30に戻す場合  
mm設定ボタンを押しながらcm設定ボタンを押す

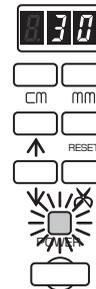
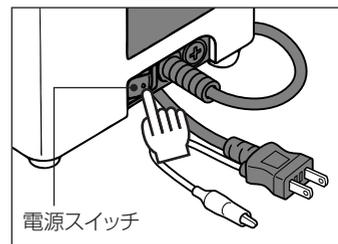
●センサーダイヤル  
★テープを押さえつける力を調節します。テープの種類によってセンサーダイヤルを回し、調節してください。(クラフト粘着テープなどカールしやすいテープをご使用の場合はダイヤルをHの方向に回してください。)

●電源スイッチ  
電源スイッチを「ON」にすると電源ランプが点灯(緑)します。

●センサースイッチ  
オートフィード機能を使用する場合は、10ページの説明に従って↑方向(ON)にスイッチをスライドさせます。※通常は「OFF」にしてください。



●電源スイッチ  
電源スイッチを「ON」にすると電源ランプが点灯(緑)します。



## ご使用前の準備

### ＜電源について＞

#### ⚠警告

交流100V(AC100V)以外の電源電圧で使用しないでください。  
感電・発火・故障の原因になります。

### ＜延長(継ぎ)コードについて＞

#### ⚠警告

●延長(継ぎ)コードは、損傷のないものを使用してください。  
感電・ショート・発火のおそれがあります。  
●延長(継ぎ)コードに、アース線のない2芯コードを使用しないでください。  
感電の原因になります。

### ＜アース(接地)について＞

#### ⚠警告

●コンセントに電源プラグを差し込むときは、必ずアースクリップをアース線に接続して、アース(接地)をしてください。  
故障や漏電のときに、感電事故を起こすおそれがあります。  
●アースクリップをガス管に接続しないでください。  
爆発するおそれがありますので、絶対にしないでください。

#### 使用上のご注意

アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するなどの電気工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。

### ＜関係法規について＞

漏電遮断器やアース(接地)については、下記の法規がありますので参照してください。

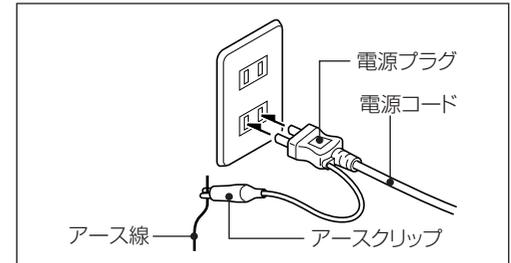
- 労働安全衛生規則(第333条 漏電による感電の防止、第334条 適用除外)
- 電気設備の技術基準(第17条 接地工事の種類及び施設方法、第29条 機械器具の金属製外箱等の接地、第36条 地絡遮断装置の施設)

- 電源コンセントの位置が離れているときは、延長(継ぎ)コードを使用してください。
- 延長(継ぎ)コードは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。

#### 使用上のご注意

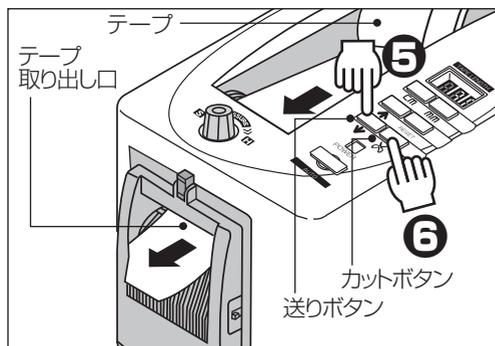
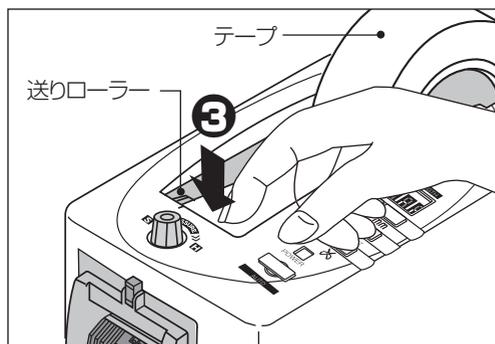
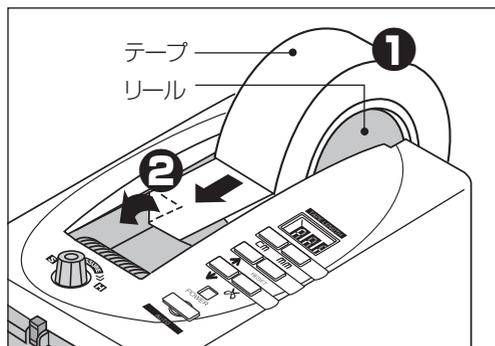
延長(継ぎ)コードを使用する場合は、電流が十分流れず製品の能率が落ちることがあります。

- 必ずアース(接地)してください。  
アース(接地)は、電源プラグから出ているアースクリップをアース線に接続してください。



- この製品が接続される電源には、労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置(漏電遮断器)が設置されていることを確認してください。
- アースクリップやアース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちの場合は、アースクリップと製品の金属部(外部)間の導通を確認してください。

## テープのセットのしかた



### 使用上のご注意

テープの種類によってプレッシャーダイヤルを回し、テープを押さえつける力を調節してください。(クラフト粘着テープなどカルルしやすいテープをご使用の場合はプレッシャーダイヤルをHの方向に回してください。)

※テープによって効果がない場合があります。



### 使用上のご注意

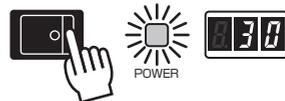
- センサースイッチは「OFF」にしておいてください。
- テープはローラーにまっすぐにセットしてください。
- 長時間電動テープカッターをご使用にならない場合は、テープを巻き戻しておいてください。くっついたり、つまったりする場合があります。

- 1 テープをリールにはめ込み本体にセットしてください。
- 2 テープを少し引き出してください。幅の広いテープの場合、図のように端を折り曲げてください。

### 使用上のご注意

- 使用テープの種類は以下のテープにかぎります。(セロハンテープ、メンディングテープ、クラフト粘着テープ、布粘着テープ、PPテープ (厚さ0.5mm以上は不可))

- 3 テープをまっすぐにして、図のように送りローラーに押しつけてください。
- 4 アース線を取りつけてから、コンセントに電源プラグを差し、電源スイッチを「ON」にしてください。  
電源ランプ(緑)が点灯し表示部に数字が表示されます。(出荷時は30)



- 5 送りボタンを押してテープを取り出し口から出してください。

テープがつまって取り出し口から出ない場合は  
テープがつまった場合をご参照ください。

- 6 カットボタンを押してテープをカットしてください。

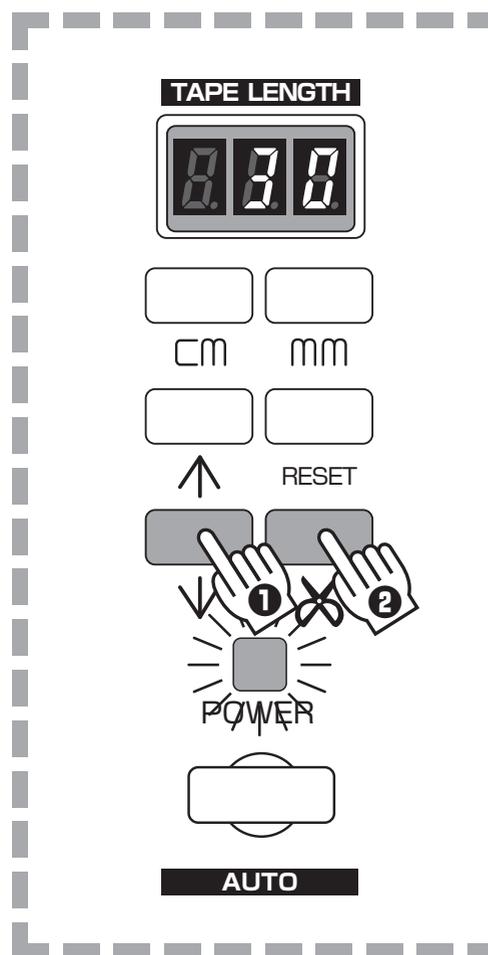
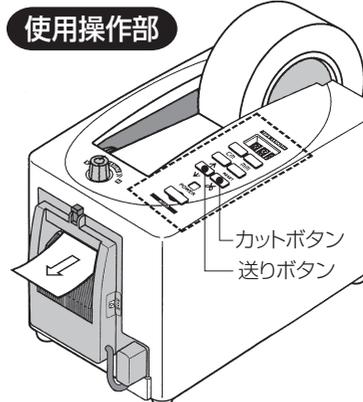
テープのカット方法は(次ページから)A、B、Cの方法があります。取扱説明書の手順にしたがって操作してください。

## A 手でテープをカットする場合

- 送りボタンで送り出した長さだけテープをカットできます。

### 使用テープの種類

- セロハンテープ、メンディングテープ、クラフト粘着テープ、布粘着テープ、PPテープ(厚さ0.5mm以下は不可)



- 1 送りボタンを押してください。押し続けている間テープが送り出されます。ボタンから指をはなすと止まります。
- 2 カットボタンを押してください。テープがカットされます。
- 3 作業が終わりましたら、必ず電源スイッチを「OFF」にして、コンセントからプラグを抜いてください。

### 使用上のご注意

- テープのカット寸法が短い場合、つまることがありますので 30mm 未満でカットしないでください。
- テープのカット寸法が長い場合は、他のものにつかないようにテープの端を持ちながらテープを送り出してください。

テープがつまって取り出し口から出ない場合は  
テープがつまった場合をご参照ください。

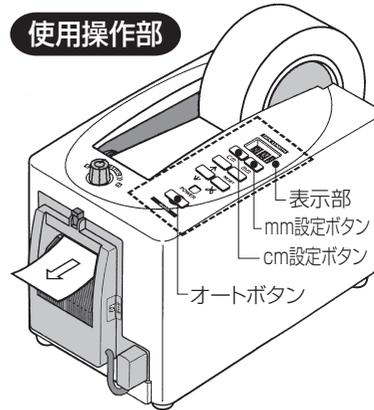
## B 自動でテープをカットする場合

- テープの長さを30～999mmまで設定できます。
- オートボタンを押すと設定した長さのテープが送り出され自動的にカットされます。

### 使用テープの種類

- セロハンテープ、メンディングテープ、クラフト粘着テープ、布粘着テープ、PPテープ(厚さ0.5mm以下は不可)

### 使用操作部



- 1 テープ長さの設定をしてください。
  - cm設定ボタン を押すと10mm単位で長さを設定できます。表示部の上2桁が変わります。
  - mm設定ボタン を押すと1mm単位で長さを設定できます。表示部の下1桁が変わります。

30mm未満の設定はできません。

30mmの初期設定に戻りたいときは、mm設定ボタン を押しながら、cm設定ボタン を押してください。

- 2 オートボタン を押してください。テープが自動的に送り出されてカットされます。
- 3 作業が終わりましたら、必ず電源スイッチを「OFF」にして、コンセントからプラグを抜いてください。

### 使用上のご注意

- テープの長さが長い場合は他のものにつかないようにテープの端を持ちながらテープを送り出してください。
- カットされたテープが取り出し口にある状態で、カットボタンを押さないでください。テープがつまる場合があります。

テープがつまって取り出し口から出ない場合はテープがつまった場合をご参照ください。

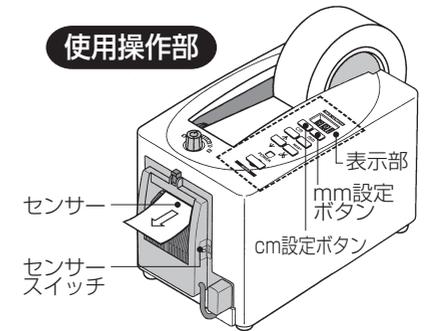
## C オートフィード機能を使用する場合

- テープの長さを30～999mmまで設定できます。
- テープを取るとセンサーの働きで設定長さのテープが自動的に送り出されカットされます。

### 使用テープの種類

- クラフト粘着テープ、布粘着テープ  
(注意)透明テープは使用しないでください。  
(誤作動する場合があります。)

### 使用操作部



- 1 テープ長さの設定をしてください。
  - cm設定ボタン を押すと10mm単位で長さを設定できます。表示部の上2桁が変わります。
  - mm設定ボタン を押すと1mm単位で長さを設定できます。表示部の下1桁が変わります。

30mm未満の設定はできません。

30mmの初期設定に戻りたいときは、mm設定ボタン を押しながら、cm設定ボタン を押してください。

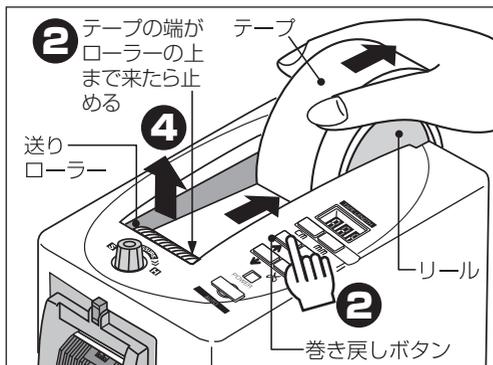
- 2 テープが取り出し口から出ている場合は、センサースイッチを「ON」にする前に、送りボタン を押して少しテープを送り出し、カットボタン を押してテープをカットしてください。
- 3 センサースイッチを「ON」にすると自動的に設定長さのテープが送り出されてカットされます。
- 4 取り出し口にあるテープを取るとセンサーの働きで自動的に、次のテープが送り出されてカットされます。
- 5 最後のテープをとる前にセンサースイッチを「OFF」にしてください。
- 6 作業が終わりましたら、必ず電源スイッチを「OFF」にして、コンセントからプラグを抜いてください。

### 使用上のご注意

- テープの長さが長い場合は他のものにつかないようにテープの端を持ちながらテープを送り出してください。
- カットされたテープが取り出し口にある状態で、カットボタンを押さないでください。テープがつまる場合があります。
- 電動テープカッターをご使用にならない時は、誤作動を防ぐため、必ずセンサースイッチを「OFF」にしてください。

テープがつまって取り出し口から出ない場合はテープがつまった場合をご参照ください。

## テープの交換のしかた

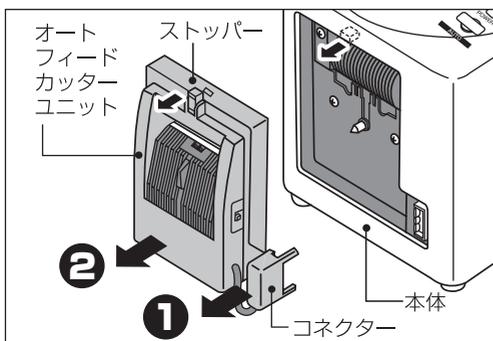


- 1 電源を「ON」にした状態にしておいてください。
- 2 巻き戻しボタン を少しずつ押しながらリールを手で回し、テープがたるまないように巻き取ってください。テープの端が送りローラーの上まで来たら止めます。
- 3 電源スイッチを「OFF」にしてください。
- 4 テープを送りローラーからはがしてください。
- 5 リールを本体からはずし、テープを交換してもう一度本体にセットしてください。(テープのセットのしかたをご参照ください。)

### 使用上のご注意

巻き戻し過ぎるとテープが送りローラーの中に巻き込まれますのでご注意ください。

## テープがつまった場合 (取り出し口につまった場合)



表示部に【Err】や【- - -】の表示が出ます。  
【Err】【- - -】の表示の場合

- 可動シャッターにものがつまった場合
- テープがつまって送りローラーが止まり、モーターが回らなくなった場合
- コネクターをはずしたまま【Err】【- - -】表示を解除したり、カットボタンを押した場合

【Err】【- - -】表示が出ていても、コネクターを取りはずしていても巻き戻しボタンは操作できます。

- 1 コネクターを抜いてください。
- 2 ストッパーを押さえながら手前に引いてオートフィードカッターユニットを本体から取りはずしてください。

### 注意

●オートフィードカッターユニットには刃がついています。ユニットをはずすときは、絶対に刃先に手を触れないでください。けがをする原因になります。

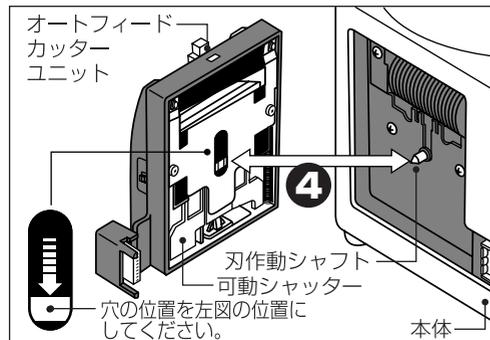
### 使用上のご注意

- コネクターを抜く前にオートフィードカッターユニットを取りはずさないでください。
- オートフィード機能使用時にテープがつまった場合は、センサースイッチを必ず「OFF」にしてからコネクターとオートフィードカッターユニットを取りはずしてください。

- 3 テープがたるまないようにテープを指で引っ張り上げながら、巻き戻しボタン を操作してつまったテープを徐々に取り出してください。▼次の頁に続く

### 使用上のご注意

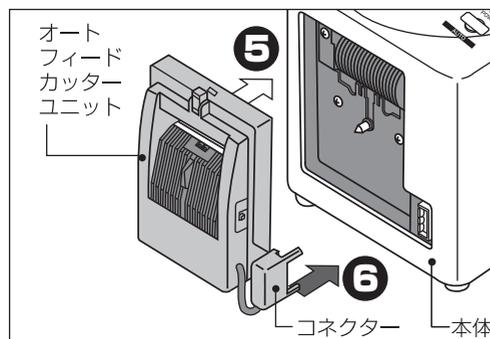
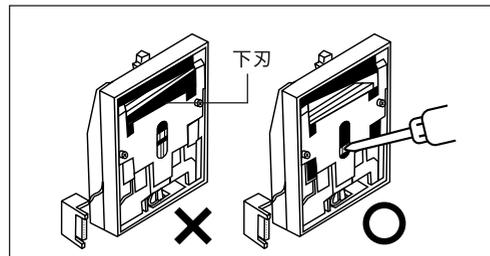
- 【Err】【- - -】表示を解除しないと送りボタンを操作できません。
- 無理にテープを引っばってちぎれないようにしてください。
- テープの使えなくなった部分はハサミで切り取ってください。



- 4 オートフィードカッターユニット裏側の中央の穴の位置を確認してください。(左図参照)穴と刃作動シャフトの位置が合っていない場合は、ドライバーなどで穴を下まで下げて刃作動シャフトの位置に合わせてください。  
※この時、可動シャッターが下がっている事も確認してください。(左図参照)

### 注意

●オートフィードカッターユニットには刃がついています。ユニットをはずすときは、絶対に刃先に手を触れないでください。けがをする原因になります。



- 5 オートフィードカッターユニットを取りつけてください。
- 6 コネクターを差し込んでください。
- 7 リセットボタンを2回押して【Err】【- - -】表示を解除してください。(1回目で表示部が点滅、2回目でリセット完了です。表示部の数字は最後に設定した長さにもどり、刃が1度スライドします。)
- 8 電源スイッチを「OFF」にしてテープをセットしてください。

テープのセットはテープのセットのしかたをご参照ください。



上記解除方法を行っても、再び【- - -】表示された場合は、異常がございますので、お買い求めの販売店、または当社のお客様相談室へご連絡ください。



## ●仕様

表示部	LED 3桁(30~999mm)
使用可能テープ幅	7mm~50mm
リールサイズ	φ76mm
使用可能テープ外径	φ170mm以下
外寸法(W×D×H)	137×249×156mm
質量	2.7Kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	18W

●付属品 シリコンオイル(5cc)